

■なぜのなぜ■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 413 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

413 目次

- 1. ご挨拶とお誘い
- 2. ブログより：なぜのなぜ
- 3. 今週の動向+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い：

これまでは、松村拓也と知り合って名刺やSNSで繋がった方に、ご挨拶もせずお届けしてきましたが、今号から簡単にご挨拶をさせていただくことに致しました。

3/4 笑恵館にお越しくくださった亀海さん、水間さん、岩田さん。

3/11 ムジナの庭でお世話になった鞍田さん、森田さん、北池さん

3/12 いづみでお目にかかった本田さん、

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

.

それと、今週末は毎年恒例「チャレンジアシストプログラム合同報告会」が下記の要領で開催されます。

日時：令和 5 年 3 月 19 日（日）13:30～17:00

会場：BumB 東京スポーツ文化館 2F 研修ルーム B

昨年 7 月の第 2 次審査で選出された 6 グループが、約 7 か月余りの活動を終え報告をします。

公開の合同報告会ですので参加ご希望の方は HP にあります連絡先から担当者へお申込みください。

<https://www.ys-tokyobay.co.jp/social/index.html#cap>

今年度も若者のチャレンジを募集しますので、是非ともご参考まで！

.....

2. ブログより：なぜのなぜ

僕はいつも「なぜ(why)」が気になる。

なぜなら、僕の問いかけや提案に対する最も多い反応が、「なぜ」という言葉だから。

だが、冷静に考えてみると、それは違うようにも思える。

「なぜ」という言葉が相手から返ってくる前に、相手から「なぜ」と問われることを前提に物事を考える自分がいる。

つまり、必ず「なぜ」と問うのは自分自身であって、相手ではない。

もしかすると、何事にも「なぜ」と感じる僕だからこそ、相手もそう感じるのではないかと決めつけているのかもしれない。

自分のことを、他人に転嫁することで楽になるならまだしも、転嫁しきれず楽にもなっていないのが現状だ。

現に冒頭で「僕はいつも・・・気になる」と白状しているのではないか。

・

今日はいきなりボヤキからスタートしたが、これは僕の自慢でもある。

「なぜ」という疑問を常に持つことは、僕の生きる原動力だ・・・と断言できることが僕の自慢だ。

そもそもボヤキや不満とは、そこに満足しない自負の表れだ。

疑問を持つのは、その答えを求めている証であり、すでに想定している答えと現状との相違を感じることでと
思う。

だが僕の場合、答えを想定できずとも、反射的に「なぜ」という疑問を持つ。

つまり、全ての物事には「なぜ」があり、それを突き止められなくても「探すこと」が僕にとっての生きることに思える。

もちろん「疑問」とは「なぜ」だけのことでなく、なに？、どうやって？、いつ？、どこ？、だれ？など様々
ある。

だが、それらの中で「なぜ」は特別だ。

・

通常、疑問と答えの関係は、一つの物事を異なる言い方で言っているにすぎない。

「あなたの名前は何(what)か」という疑問に対する「私の名前は松村拓也」という答えは、「名前(言葉)」を
「何」と仮置きしているにすぎないし、「1+1」に対する「2」という答えは「=」という記号で置き換え可能
を示している。

「いつ」、「どこ」、「だれ」は、時間・空間・人間という現実世界の3要素に関する置き換えだし、「どうやって
(how)」は状態Aから状態Bへの変化プロセスを指す疑問だ。

ところが「なぜ(why)」だけは、そう簡単には説明(定義)できない。

あえて説明するならば、「何かに対しどう感じるか？」とでも言うしかない。

「すべてのものを対象とする、あらゆる主体の感じ方」なので、あらゆることが答えになり得る上に、客観視
することができない。

・

なるほど・・・白状すると、今初めてうまく説明できた気がする。

「どうやって(how)」が客観的プロセスなのに対し、「なぜ(why)」は主観的プロセスを示す。

「どうしておなかが減るのかな」という歌があるが、「1番：けんかをすると減るのかな、仲良くしてても減る
もんな」の「どうして」は「なぜ(why)」に思えるし、「2番：おやつを食べないと減るのかな、いくら食べて
も減るもんな」の「どうして」は「どうやって(how)」に思えるのはそのためだ。

つまり、英語では主観の why と客観の how を明確に区別しているが、日本語ではこの区別があいまいだ。

だから僕は、この議論をくどくどと繰り返しているのではないだろうか。

・

でも、この気づきは僕の最大の疑問に立ち向かう勇気をくれた。

それは、「なぜはなぜ、いくら繰り返しても終わらないのか」という疑問だ。

僕は起業や創業、そして継続を目指す人に「なぜそれを目指すのか」と問い続ける。

例えば「お金を儲けたい」と言う人には「なぜ儲けたいのか」、「人を喜ばせたい」と言う人には「なぜ喜ばせたいのか」という具合に、この問いは果てしない。

だが、この問いかけを繰り返すうちに、当事者あるいは双方が「なるほど」と気づく瞬間があり、そのおかげで僕は感謝されることになる。

恐らくその瞬間とは、当事者が答えを見つける瞬間であり、ぼんやりとしていた思いが明確化する瞬間だと思う。同時にそれは、自分が誰かと思いを共有する瞬間であり、「自身と共有する（気づく）」瞬間だ。

つまり、主観が客観化する瞬間と言って良い。

・

このブログは僕にとって、常に疑問から目を背けず直視しながら答えることで、力づくで気づきを生み出すチャレンジだと思っている。

今日もまた、日々集めている疑問の中からネタ探しをするうちに、疑問そのものに対する疑問「なぜのなぜ」に捕まってしまった。

この疑問は面倒だから、違う疑問にしようと思った瞬間「なぜ」という僕のスイッチが入ってしまった。

そして悪あがきしたこの数時間、僕は生きていることを強く感じた。

<https://nanoni.co.jp/20230313/>

.....

3. 今週の動向+今後の予定（下記以外はすべて空いてます）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の動向

(火) 03/14 なのに（各所）作業日

会議×：10-12時 LRL 会議（いづみ）

会議○：20-21時 LR 定例営会議_2 火（オンライン）

(水) 03/15 なのに（世田谷）作業日

会食×：19-21時 Mさん（日楽庵）

(木) 03/16 なのに（各所）作業日

会議○：10-12時 HFA 定例会_3 木（恵比寿）

交流◎：13-18時 なるほどデイ_3 木（笑恵館）

交流◎：18-20時 完全持ち寄り食事会_3 木（笑恵館）

会議○：21-22時 AR こども書籍 PJT（オンライン）

(金) 03/17 なのに（世田谷）作業日

(土) 03/18 なのに（世田谷）作業日

交流◎：09-12時 よろず相談会（笑恵館）

(日) 03/19 なのに（各所）作業日

交流×：11-12時 ゆうき君結婚式（新宿）

交流○：14-17時 チャレンジアシストプログラム報告会（新木場）

会議○：21-22時 八島花文化財団事務局 MTG_3日（オンライン）
（月）03/20 なのに（世田谷）作業日
交流○：14-15時 きぬた女子会（おおがいさんち）

■今後の予定

03/23 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4木（笑恵館）
03/25 交流◎：09-17時 よろず相談会_土（笑恵館）
03/26 交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会_4日（反町）
03/27 交流○：15-17時 笑恵館女子会_4月（笑恵館）
03/28 会議○：20-21時 LR 定例営会議_4火（オンライン）
04/02 会議◎：10-12時 八島花文化財団理事 M_1日（オンライン）
04/09 交流◎：09-17時 いづみプロジェクト説明会_2日（反町）
04/11 会議○：20-21時 LR 定例営会議_2火（オンライン）
04/13 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_2木（笑恵館）
04/16 会議○：21-22時 八島花文化財団事務局 MTG_3日（オンライン）
04/20 交流◎：13-18時 なるほどデイ_3木（笑恵館）
04/20 交流◎：18-20時 完全持ち寄り食事会_3木（笑恵館）
04/20 会議○：21-22時 AR こども書籍 PJT_3木（オンライン）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>